

2021年7月1日

2020年度学校関係者評価報告書

2020年度学校関係者評価につきまして、以下の通り報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員名簿（外部委員）

氏名	所属先
猪瀬 和志	株式会社猪瀬 常務取締役
手塚 彰一	栃木県立茂木高等学校 元校長
菊地 範昭	医療法人全人会 宇都宮中央病院
田中 優希	塩谷広域行政組合消防本部
半田 三男	社会福祉法人正恵会 特別養護老人ホーム ホームタウンほそや 施設長

2. 学校関係者評価委員会開催状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面での意見聴取により実施。

3. 学校関係者評価委員会評価結果

別紙の通り。

2020 年度学校関係者評価報告

(ア) 教育理念・目的・人材育成像

- ・学校の理念・目的・将来構想などの周知が4に上がり、学校の教育方針が理解されてきているということだと思う。
- ・表情も明るく活発な学生の姿を見ると、十分に本校の理念、目的・人材育成が学生たちに浸透していることがうかがえる。また、卒業し、各業界へと就職していった卒業生たちの活躍もよく聞くので、このまま人材の育成に努めてほしい。

(イ) 学校運営

- ・成績管理や出欠管理等にも情報システム化はぜひ進めてほしい。
- ・情報システムを一元化することにより、各業務のスリム化と効率化をさらに進め、従業員の負担の軽減へとつなげてほしい。

(ウ) 教育活動

- ・今年度はコロナの影響が強く、研修が十分できなかったという事情もあると思いますが、日進月歩の科学の世界、最先端の技術を学ぶ機会をぜひ作ってほしい。
- ・各資格試験の合格率を踏まえ、現状問題はないと思われる。各業界のスペシャリストや、第一線で活躍されている現役の人を講師とすることで、就職後の即戦力としての人材育成となっている。

(エ) 学修成果

- ・就職率については、社会情勢によって左右されることもあり、公務員試験もかなりハードルが高いのでやむを得ないと考えられる。資格取得率を見ると、先生方も学生も良く頑張っていると思う
- ・コロナウイルスの影響により、今年の就職は特に厳しい現状だったと思う。それを踏まえても、充分良い結果だったと思う。資格の合格率も、高い水準を満たしており問題ない。退学率の低減も、このまま尽力してもらいたい。

(オ) 学生支援

- ・課外活動の充実は学生の仲間意識を醸成することにもつながっていくので、そのための環境整備を進めてほしい。また、高校との連携については、出前講座等を積極的に行って、本学のこと、学科のことを理解してもらうことから始めてはどうか。
- ・海外からの学生が多い介護福祉科への学生の相談・支援はよく行われていると思う。困難な点も多いと思うが、引き続き頑張してほしい。

(カ) 教育環境

- ・少しずつハード面の環境整備が進んできていると思う。グラウンド等の整備が進むとよいと思う。
- ・今年度、インターネット環境が整ったことにより、より効率的な授業や学生の学習の幅が広がった。このまま、現代のニーズに合った教育環境づくりに努めてほしい。

(キ) 学生の受入れ募集

- ・コロナの影響もあり、学生募集は困難なこともあると思いますが工夫してほしい。学生による母校訪問なども少しは効果があるかもしれない。
- ・積極的な広報活動のおかげで、現状特に問題ないと思う。学納金も、他校と比較し、妥当といえる。

(ク) 財務

- ・現状、特に問題ないと思う。

(ケ) 法令等の遵守

- ・引き続き、法令等の順守に努めてほしい。

(コ) 社会貢献・地域貢献

- ・コロナが収束しないと厳しいが、留学生も多いので高校との交流を企画してもよいのではないかと。
- ・コロナウイルスの影響もあり厳しいと思うが、引き続き地域貢献・社会貢献に努めてほしい。

(サ) 国際交流

- ・日本の文化、モラルの浸透に引き続き努めてほしい。